

市では災害に対する備えをみなさんと共に進めています

近年、東日本大震災をはじめとする大きな地震が続いており、この地方でも東海・東南海・南海地震などの大規模地震が、今後30年の間に87%の確率で発生すると予想されています。自然災害を防ぐことは出来ませんが、少しでも被害を少なくする「減災」は日常での取り組みや心掛けで可能となります。市では以下の取り組みなどにより市民のみなさんと共に災害に対する備えを進めています。

総務課防災対策室 ☎⑤1118

防災タウンウォッチング事業

鳥羽のまちで災害がやってくるまでに、みんなのできることをいっぱい探してみませんか

市では地震・津波などの災害が地域のなかで起きたとき、津波が来そうなときに逃げる場所や地震で塀が倒れて通れなくなる場所、災害が起こったときに助けが必要な人がどこに住んでいるのかなどを知っておくために、地域のみなさんと一緒にまちを歩き、



車イスが通ることができるかを確認中



防災タウンウォッチングの説明

一緒に考えることでオリジナルの防災マップづくりを行う防災タウンウォッチング事業を町内会と共に進めています。

災害時要援護者支援台帳整備事業

安全で安心な地域づくりのために

市では「災害時に自力で避難できないかたがた」と「そのかたのサポートをしてもらえるかた」を事前に「災害時要援護者台帳」で登録しておく、災害が起こったとき、安全かつ迅速に避難できるように災害時要援護者支援台帳の整備事業を町内会と共に進めています。

鳥羽出前とく「おしゃべりし対話事業」

市が取り組む事業について市職員が説明し、市民のみなさんと意見交換を行う事業で、市民のみなさんが開催する集会や勉強会などに担当課職員が出向きます。

市内在住、在勤、在学の10人以上のグループが市内で実施する集会や勉強会などが対象となります。

本年度は4月から6月末までの間、「鳥羽市の防災」をテーマとした出前とくを7回開催しました。

費用は無料で、土曜・日曜日、祝日および夜間も利用可能です。

防災教育および講演会の開催

防災対策室の職員や大学教授などが講師となり、地震や津波の災害が起こったとき、尊い命を守るための普段からの心掛けや対策について東日本大震災などの写真や映像を取り入れながら防災意識を高めてもらえるようなお話をします。



長岡中学校での防災学習会

みなさんと共に備え、災害に強いまちを目指すため、ぜひ、防災対策の事業をご利用ください。

くわしくは、総務課防災対策室へ問い合わせてください。

